

造船機統計調査結果（平成18年2月分）の概要

1. 造船調査

(1) 集計工場数

平成18年2月分の集計工場数は、鋼船については、487工場であった。

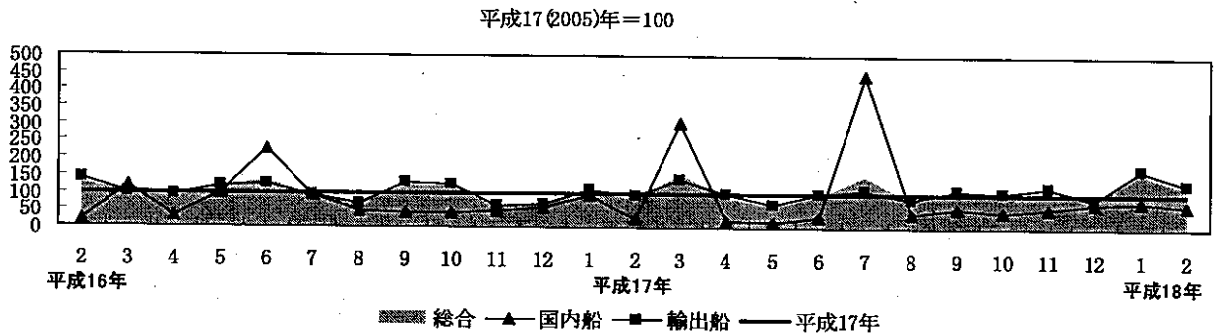
強化プラスチック（木）船については、142工場であった。

(2) 鋼船建造実績

平成18年2月分の鋼船建造実績は、起工37隻、137万7千G/T、進水48隻、127万2千G/T、しゅん工50隻、145万3千G/T、しゅん工船価1,353億円、生産指数※①120.0であり、生産指数の前年同月比※②は、42.3%増であった。

このうち国内船は、しゅん工11隻、1万9千G/T、しゅん工船価89億円、生産指数69.3であり、生産指数の前年同月比は、194.7%増であった。また、輸出船は、しゅん工39隻、143万4千G/T、しゅん工船価1,264億円、生産指数126.6であり、生産指数の前年同月比は、37.3%増であった。

①生産指数の推移

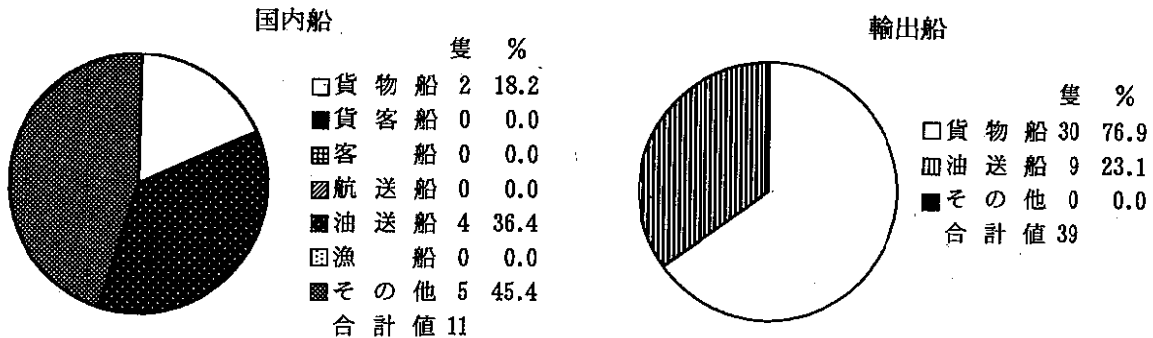


※①生産指数（月次）は、当該月のしゅん工船価（合計）を、基準時（平成17年）のしゅん工船価（合計）の月平均値で除して求めた指数である。

※②生産指数の前年同月比は、当該月のしゅん工船価を前年同月のしゅん工船価で除して求めた数値である。

②しゅん工船の用途別隻数（鋼船）

しゅん工船のうち国内船は11隻、輸出船は39隻で、用途別（船種）では、次のとおりであった。



2. 造機調査

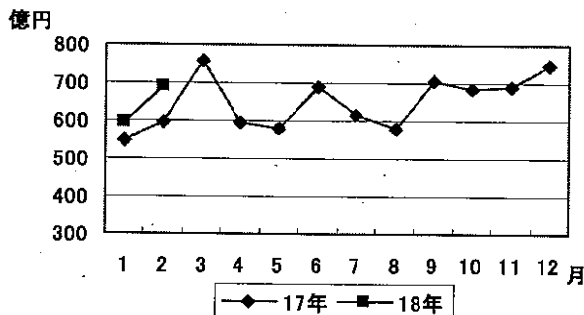
(1) 集計工場数

平成18年2月分の集計工場数は、419工場であった。

(2) 船用機関等の製造高及び月末在庫高・修繕高

船用機関等の製造高は、689億円であり、月末在庫高は、150億円であった。また、修繕高は29億円であった。

①造機製造高の推移



②造機月末在庫高の推移

